

第5回聖籠町公共交通検討委員会 議事要旨

日時：令和元年11月26日（火）15：00～16：30

場所：聖籠町役場3階大会議室

出席委員：藤堂委員、渡邊委員、河村委員、五十嵐委員、齋藤委員、高橋委員、山口委員、
新保委員、菅原委員、小川委員、森委員、安齋委員

事務局：夏井副町長、生活環境課：藤田課長、高橋補佐、勝見主任、子ども教育課：宮下補佐

次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 土曜日の運行について

(2) 検討委員会報告書（案）について

議事 (1) 土曜日の運行について

○事務局から資料説明

○説明を受けての質問・意見

委員 「見直しを行うのが適当である」との表現であるが、どのように見直すのかまで書かないのか。

副町長 見直しを行うにしても、土曜日運行の全部をやめるのか一部だけ見直すのか、いろいろな選択肢がある。土曜日運行を無くすことの影響がどの程度なのか、利用者や地域の声を聴きながら決めていきたい。そういうことから、委員会報告については、少しふんわりとした表現になるが、見直しの方向性をうたっていただくという形にしている。

委員 今後、住民との対話によって決めていくとのことであるが、報告書にそのような記載はあるか。

事務局 書いていないので、冒頭部分などに記載する。今後はパブリックコメントなどを通じていろいろなご意見を頂戴していきたい。

委員 土曜日運行について、利用者が少なくコストがかかるから廃止ということではなく、平日とは別の視点で、利用者の声を聴きながら、白紙の状態から路線や運行形態を見直していくという方法もあるのではないか。

事務局 利用者や地域の声を聴きながら決めていきたいと考えている。

会長 報告書の中に「持続可能な公共交通を維持する」などの財政的な表現があちこちに見られるが、固定資産税の減少などの町の置かれた財政状況に関する記述を加えていた

だきたい。

事務局 加える。

議事 (2) 検討委員会報告書(案)について

○事務局から資料説明

○説明を受けての質問・意見

委員 エコミニバスと循環バスの2つの表記が出てくるが、使い分けの意図があるのか。

事務局 意図はない。エコミニバスに統一する。

委員 報告書の中に「高校生の通学手段の確保」という記載があるが、小中学生の通学手段にも触れていただきたい。第2回の検討委員会でも述べたが、町には中学校のスクールバスがないという現状である。そういった視点からも、小中学生の通学については大きなポイントになると思われるので、報告書には載せていただきたい。

副町長 小中学生の通学については、12月から立ち上がる別委員会で検討を行う旨、報告書に記載する

委員 図1-2、図1-3から、平日ほぼ毎日利用しているのは高校生が多いとの記載があるが、この2つの図から直接確認できないのではないか。

事務局 バックデータからの引用であった。図から直接読み取れるとの文言は修正する。

委員 エコミニバスと路線バスとの統合再編のところで、「町内区間の路線バス料金をエコミニバス料金と同運賃とし」という記載だが、新潟交通観光の路線である。可能なのか。

副町長 新潟交通観光が運行する現在の路線については、町で料金の変更はできない。期待を込めての話であるが、町が主導して路線を統合した場合には、記載のような効果も期待できるということである。

委員 運賃・減免のところで、冒頭の利用者人数から収支率までの記載が長すぎる。もっと簡単にした方がよいのではないか。近隣市の減免状況を表として掲載しているが、高齢者・障がい者の減免を行っているのは聖籠町と阿賀野市のみだという文言のみの記載で十分ではないか。

事務局 長文の部分はもう少しわかりやすく簡素な表現に改める。

副町長 町民の皆さんが見たときに周りの状況はどうかというのをお示しした方がよいと思うがいかがか。

(載せておいてもよいという声あり)

委員 観光という部分に触れられていない。公共交通を観光に活かすという考えはあるか。例えば聖籠夏まつりの花火などでは路上駐車も見られる。臨時便などを出して対応することもよいのではないか。

事務局 観光については今後の検討材料にしたい。まずは町民の普段の移動手段としての公共交通ということで考えている。

委員 報告書案については本日初見であるため、もう少し読み込んだうえでの意見がある

かもしれない。時間をもらいたい。

副町長 本日いただいたご意見を反映した報告書案を再度お配りする。そこから 1 週間以内にご意見をいただきたい。いただいたご意見を集約したものは会長に確認し報告書としたいが、それでよろしいか。

(異議なし)

(文責は事務局。事後修正する場合があります。)